

平成 29 年 2 月 2 日

## インプレッサのリコールについて

平成 29 年 2 月 2 日、富士重工業株式会社より、国土交通省にインプレッサのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	3976	リコール開始日	平成29年2月2日
不具合の部位(部品名)	制動装置(バキュームポンプ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	制動倍力装置のバキュームポンプにおいて、当該ポンプの製造が不適切なため、ポンプ内部に異物が残留しているものがある。そのため、異物により潤滑用油路が塞がれると、潤滑不良となりポンプ内部が破損し、負圧補助機能が失われ、高地等でブレーキを掛ける際、通常の踏力ではブレーキの効きが悪くなるおそれがある。また、ポンプ内部で破損した部品がエンジン内部に入り、エンジンが損傷するおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、バキュームポンプの製造番号を確認し、該当するものは良品と交換する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	DBA-GK6	「インプレッサ」	GK6-002082 ~ GK6-002151 平成28年11月2日 ~ 平成28年11月10日	24	
	DBA-GK7		GK7-002306 ~ GK7-002489 平成28年11月1日 ~ 平成28年11月11日	70	
	DBA-GT6		GT6-002390 ~ GT6-002515 平成28年11月2日 ~ 平成28年11月11日	63	
	DBA-GT7		GT7-003373 ~ GT7-003663 平成28年11月2日 ~ 平成28年11月11日	156	
	(計4型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成28年11月1日 ~ 平成28年11月11日	(計313台)	

※対象車の車台番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車両も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。